

砂防ボランティア会報 VOL2

平成24年1月31日

非営利活動法人 秋田県砂防ボランティア協会



【あいさつ】

理事長 芳賀正廣

会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

毎年各地で土砂災害が発生しておりますが、平成23年度には、3月11日の東北地方太平洋沖地震によるがけ崩れ、9月には台風12号による大規模な土砂崩れなどにより、各地で多数の死亡者を出すなど甚大な被害をもたらした1年でした。県内での土砂災害は、幸い人的被害がありませんでしたが、18件発生しています。

また、秋田県では、これまで県事業として採択できなかった人家5戸未満の危険箇所の対策として、新規に「局所がけ崩れ対策事業」を創設し、よりきめ細やかな土砂災害対策に努めており、平成23年度は1町に補助をしています。

当協会の活動については、6月に県との協議による各地域振興局での全国統一防災訓練「講習会」、具体的には、住んでいる場所が土砂災害危険箇所か確認する、雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意する、土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難する、の3つのことについて地域住民へ周知を図りました。また、県からの調査委託により、鹿角地区・雄勝地区では、危険箇所の点検を実施し斜面カルテの修正を行いました。

今後についても土砂災害防止に係わる活動を積極的に展開し、県民の安全確保に寄与できるよう努めてまいります。

会員の皆様のこれまでの活動に深く感謝申し上げますとともに、今後も益々ご健勝で当協会にご協力頂きますことをお願いいたします。

I 河川砂防課からの寄稿

秋田県の砂防事業等について

秋田県 建設交通部 河川砂防課

1 秋田県の土砂災害対策の現状

本県における土石流、地すべり、急傾斜地崩壊の危険箇所数は、約3,300（ランクⅠ）箇所あり、保全対象人家は約39,500戸となっています。このうち、危険度の高い箇所、保全対象人家戸数の多い箇所等から土砂災害防止のための施設を整備していますが、平成22年度末の整備率は、23.7%とまだ低い水準にあります。土砂災害警戒区域等は、災害時要援護者関連施設や公共施設の有無、保全対象人家戸数などから、優先地区を選定し、平成22年度までに968箇所（特別警戒区域は206箇所）を指定しています。

近年、秋田県では時間50ミリを越える局地的集中豪雨が増加し、土砂災害が多発傾向にあるほか、65歳以上の高齢化割合が29%と高い数値を示す本県では、64歳以下の生産年齢人口割合が年々減少傾向にあるため、単身の高齢者や要援護者対策が課題となっております。

■土砂災害危険箇所数（H23.3.31現在）

| 区分 | 土砂災害危険箇所 ランクⅠ～Ⅲ | 土砂災害危険箇所数 ランクⅠ（6戸以上） | 保全対象人家戸数 | 概成済み箇所数 | ランクⅠに対する 概成率 |
|------|--------------------|-------------------------|----------|---------|-----------------|
| 土石流 | 4,187箇所 | 1,692箇所 | 16,648戸 | 269箇所 | 15.9% |
| 地すべり | 576箇所 | 262箇所 | 8,532戸 | 64箇所 | 24.4% |
| 急傾斜地 | 3,236箇所 | 1,318箇所 | 14,284戸 | 442箇所 | 33.5% |
| 計 | 7,999箇所 | 3,272箇所 | 39,464戸 | 775箇所 | 23.7% |

■土砂災害警戒区域等指定状況（H23.3.31現在）

| 指定状況 | 土砂災害警戒区域 | うち 土砂災害特別警戒区域 |
|------------|----------|---------------|
| 土石流危険渓流 | 485箇所 | 96箇所 |
| 急傾斜地崩壊危険箇所 | 483箇所 | 110箇所 |
| 合計 | 968箇所 | 206箇所 |

2 土砂災害対策の整備方針

近年の地球温暖化に伴う局地的集中豪雨や東日本大震災等の驚異的な自然災害に備え、『県民が安全で安心して暮らせる地域』を確保する観点から、短期間で効果の発現する箇所へ予算を優先的に配分してまいります。

① 高齢化社会に対応した土砂災害対策

災害時要援護者関連施設のある土砂災害危険箇所への予算の重点化
基礎調査結果を活用し、市町村と連携した警戒避難体制の構築

② 震災時の安全確保対策

震災時の円滑な避難確保のための急傾斜地崩壊対策の実施

③ 危機管理強化のための老朽化施設対策

緊急改築事業により砂防関係老朽化施設の耐震性を向上

II 平成23年度の協会の状況

- 会 員 85名(平成23年5月末)
- 役 員 理事長 芳賀正廣 副理事長 菅原善昭 佐々木卓郎
 - ・理 事 佐々木一郎、佐々木和雄、柴田直三、渡邊忠美、佐々木正一、本戸達見
田口喜代美、小田修、神居勝康、小林眞一、安井忠
 - ・監 事 佐藤彰一、河越範芳
- 斜面判定士 69名
- 協会の目的 この法人は秋田県民に対して、土砂災害から生命・財産を守るため、土砂災害防止に係わる活動を行い、県民の安全と福祉の増進並びに環境の保全に寄与することを目的とする。
- 主な事業
 - ・総 会 5月ころ 理事会 年2～3回
 - ・斜面危険箇所点検 (県、市町村、住民と合同点検)(県からの斜面施設点検委託調査)など
 - ・防災知識(土砂災害)の啓発普及に関する活動
 - ・斜面判定士講習会
 - ・砂防ボランティア全国連絡協議会との連携

III 平成23年度の活動状況

1. 総 会 平成23年5月19日 アキタパークホテル
渡邊忠美議長のもと、H22事業報告、H22収支決算、H23事業計画案、H23予算案が可決された。
また、役員改選もあり、II項に掲載の役員案が全会一致で可決された。

| | |
|----------------------|----------------------|
| H22収入決算額 2,051,941 円 | H23収入予算額 1,486,000 円 |
| H22支出決算額 1,127,000 円 | H23支出予算額 1,486,000 円 |
| 繰越金 998,687 円 | |

2. 事 業

- 土砂災害防止月間における避難訓練時の支援(6月12日6振興局 19日2振興局)
参加協会員 16名



○委託事業(急傾斜地崩壊防止施設点検業務委託 6月～8月)

・鹿角、雄勝の2振興局から計50箇所の法面施設の点検業務委託の事業を実施した。

| | 箇所数 | 契約(円) | 調査体制 |
|-------|------|---------|--------|
| 鹿角建設部 | 29箇所 | 370,000 | 4班 19名 |
| 雄勝建設部 | 21箇所 | 270,000 | 2班 13名 |
| 計 | 50箇所 | 640,000 | 6班 32名 |



○広報活動 参加協会員 17名

(平成23年10月22日県北地区 道の駅上小阿仁, 11月5日県南地区 道の駅さんない)



○技術講習会(24年1月25日 秋田県庁第2庁舎 災害対策本部室)

県河川砂防課との共催 講師 砂防地すべり技術センター総合防災部長 安養寺信夫氏

演題 「地震や火山噴火に伴う土砂災害」

参加者 県職員30人 当協会員25人



特定非営利活動法人 秋田県砂防ボランティア協会
 〒010-0965 秋田市八橋新川向3番12号 秋田青葉ビル内
 TEL・FAX018-823-5055 E-mail akitasabovo@yahoo.co.jp

★★★★★ 当協会を支援していただいている企業(賛助会員) ★★★★★

奥山ボーリング(株) 基礎地盤コンサルタンツ(株) 国際航業(株) 国土防災技術(株)
 (株)自然科学調査事務所 柴田工事調査(株) (株)創研コンサルタンツ 創和技術(株)
 東邦技術(株) (株)パスコ 明治コンサルタンツ(株)